



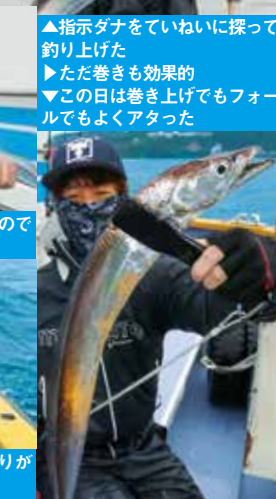
▲タチウオがヒットしたらポンピングせず、一定のテンションで巻き上げる
▲走水沖のアレージは90~100センチ級



▲移動直後に釣れることが多かった



▲釣り上げたタチウオは激しく暴れるので魚ばさみがあると安心だ



▲指示タナをていねいに探って釣り上げた
▲たた巻きも効果的
▼この日は巻き上げでもフォールでもよくアタった



▲フォールでヒット!



▲取り込みはリーダーをつかみ船内に抜き上げる。大型は船長にタモ入れてもらおう



★初挑戦でツ抜けを達成した板倉友基さん。1メートル級のヒットルアーはシャウト!の「ショーテル」130グラム、フルビンセブラグロードット

東京湾奥木更津出船 富津沖で数釣りのち 走水沖で型狙い!

撮影●本誌編集部

▼ジグは100~160グラムがメイン。写真は青物やタチウオで高い実績を持つシャウト!の「ショーテル」。上から100gゼブラグロ、130gクラッシュドットグロ、160gレッドゴールドピンクセブラ



★ワンピッチショートジグヤークで次々にタチウオを釣り上げる
鹿島一郎さん



シャウト!のジグとフックを用いたフックセット例

◎リアフックは刺さり抜群のストレートポイント・バーブレス4本フックを採用した「サーベルクアッド14」や「グロークアッド15」をスプリットリングで接続。フロントのアシストフックは連結金具を熱収縮パイプでカバーしたタイプの「サーベルクアッドアシスト」か「グロークアッドアシスト」がおすすめ。

フロント ジグ「ショーテル」130g ↓リア

リアフック→「サーベルクアッド14」

アシストフック「サーベルクアッドアシスト」

リアフック→「グロークアッド15」

アシストフック「グロークアッドアシスト」

▲夜光バイトマーカー付きのフックはアピール力が高く、潮が濁っていたり、暗いときに有効

▲フックとジグは44ポンド強度のスプリットリングで接続する

※ルアー、フック、スプリットリングはすべてシャウト!フィッシャーマンズツールの製品です

ドラゴン級と中々小型の数釣りでも盛り上がっているのはルアーも同じ。タチウオジギングの歴史が長い東京湾では湾奥一帯から専門船が周年出船、夏を迎え型、数ともに絶好調だ。

木更津港の宮川丸では、目下このころ富津沖の水深17メートル前後で60~80センチ級の数釣りを楽しんだあと、型狙いで走水沖の水深60メートル前後へ転進するパターン。走水沖では90~100センチ級を主体に120センチ前後も交じり、浅場とトータルでトップ20本前後。好日には初挑戦の方が大型を釣り上げたり、ツ抜けしたりとビギナーも期待十分。

船長によると富津沖、走水沖ともに魚影は濃く反応は広範囲に見られるとのことなので、今後も要注目だ。

(詳細は54ページ参照)



▲当日最大116センチを釣り上げた庄司三喜夫さん

●東京湾奥木更津港
宮川丸・三木 武師船長